

## 報告第1号

### 平成29年度事業計画

急速に進む少子高齢化社会の中、全国的に会員数が伸び悩んでおり、**会員増強**は喫緊の課題となっております。ご家庭内でのちょっとした困りごとや地域社会での臨時的な仕事を解決できるのは、経験豊富なシルバー世代の方々です。

高齢者の持つ知識や技術は、**社会の大切な財産**であり、働く意欲のある高齢者が年齢にかかわらず、誰もがその能力や経験した技能で活躍し、いつまでも「社会の支え手」であることが、いわゆる「**一億総活躍プラン**」であり、地域全体を元気にすることでもあります。シルバーの就労形態は、従来の請負・委任といった働き方のみならず、1派遣事業所として、企業等からの多種多様な人材の要請に伴い、会員への技能付与や知識の向上を図り、1人でも多くの会員が生きがいを持って元気に就労できるように努めております。また、**医療介護財政の軽減に貢献**することからもシルバーは重要な役割を担っております。

国の補助金については、今年度も「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」に重点を置いて、働く現役世代を下支えするとともに、人手不足分野への派遣事業や職業紹介事業、また保育や介護分野の人材確保は、重要な取り組みとして一層の拡充を求めるものとなっております。また、介護予防・日常生活支援総合事業等における福祉・家事援助サービスの拡大も今後、積極的に取り組んで行かなければならない事業であると考えております。派遣事業を含めた更なる就業の場の確保・提供そして会員への技能付与・知識向上のための講習会等々、今年度も会員増強を主に、地域に根差したシルバーとして、以下の事業を策定します。

#### 1 組織運営体制強化

##### (1) 会員増強

お客様の多種多様な就業要請に応えるため、町内に住む健康で働く意欲があり、幅広い能力を持つ団塊世代の人たちへ入会を勧め、常時200名の確保を目指します。

- ・町広報を活用した募集及び独自ホームページによるPR。
- ・各区会、町会へチラシの配布・回覧を要請
- ・各種団体や高齢者が集う場所への**出向入会勧誘**
- ・会員ボランティアによる町内全世帯を対象とした、手作りチラシの配布
- ・一会員一就業先開拓運動の推進
- ・各地区への**定年退職予定者への夜間説明会の開催**
- ・ポスターや新聞広告チラシによる**会員募集強化**

## (2) 事務局体制強化

新規事業展開や、営業活動強化策を見据えた効率的な事務局を目指します。

- ・ 役員・会員で構成された専門委員会による事業運営の取り組み
- ・ 職員の効率的業務分担の見直し
- ・ 積極的な研修会参加による職員の業務能力向上の取り組み
- ・ 朝礼等による情報の共有と業務の確認

## (3) 会員による自主運営確立推進

見積もり・現場管理・業務完了確認など、事務局主導を見直し、可能な限り「会員が運営するシルバー人材センター」という認識を浸透させることで自主性を喚起し、より働き甲斐と喜びの機会を提供します。

- ・ 職群班・地域班など将来の組織構築を見据えた、資質・技量のある会員の養成
- ・ 専門委員会による事業企画

研修会・親睦会・グランドゴルフ大会・諸サークル活動等の推進

「新鮮野菜市」開店に向けた準備

## 2 就業機会の開拓

事業の根幹であり、自主財源確保対策の最重要課題として、派遣事業を含めた受注活動の拡大に努めます。

### (1) 町内及び隣接する地域の企業・事業者・一般家庭に人材派遣業務及び会員が対応可能な業務を知らせ、就業機会の開拓に努めます。

- ・ 会員ボランティアによる町内全世帯へのPRチラシ配布
- ・ 企業・事業者に対するPRと提案型営業活動の推進・強化
- ・ 季節ごとに(剪定・雪吊り・除草・除雪等)予約募集活動
- ・ 事業所・各種団体窓口へのポスター掲示・PR推進

### (2) 「新鮮野菜市」など新規事業展開・拡充に向けた、研究・準備の取り組みの推進に努めます。

- ・ 子育て分野(ファミリーサポートセンター)との連携強化
- ・ 介護保険制度改正に伴い、町と連携した家事援助サービスへの拡充、

### (3) 講習会開催の取り組み

- ・ 石川県シルバー人材センター連合会と連携した技能講習会参加への推進
- ・ 受注が少ない冬季の期間限定割引等による就業機会の確保
- ・ 福祉分野でのワンコインサービス事業内容の模索
- ・ 内灘町及び内灘町社会福祉協議会との連携
- ・ 内灘町と連携した「空き家管理業務」の周知強化

### 3 会員の安全就業と就業に関する知識・技能の向上

事故ゼロを目指した安全就業に関する意識の再徹底と、知識・技能向上を図る機会を作り、会員個々の就業機会の開発と、技能継承に努めます。

- ・リーダーによる朝礼・終礼の徹底（現場支持、注意事項の伝達等）
- ・会員への賠償事故防止対策指示の徹底と現場管理
- ・安全・適正就業委員会を中心とした現場パトロールの強化
- ・安全・適正就業委員会による事故原因の追究と再発防止
- ・県シ連と連携した講習会開催(接遇マナー研修、福祉家事援助サービスに関連した講習会予定)
- ・知識向上の為の救命救急講習会
- ・「いきいき通信」を活用した安全就業の啓発・情報発信
- ・ガイドラインの活用による適正就業遵守

### 4 普及啓発

センターのPRを兼ね、地域住民及び各種団体との連携強化と会員の一体感醸成のため、ボランティア活動に取り組みます。

- ・除草・清掃など奉仕活動の実施
- ・普及啓発月間中、町内スーパーマーケット店頭でのチラシ配布によるPR
- ・高齢者スポーツ大会への出向チラシ配布
- ・「よってこか〜ミニバザー」の開催によるPR活動
- ・チラシで作るゴミ入れの作成・配布（配布先：内灘町役場、子育て支援センター、町内保育園、介護施設、各公民館等）ボランティア
- ・1会員1名勧誘並びに1顧客紹介運動の継続実施
- ・広告やチラシによるシルバー人材センターPR
- ・シルバーの活動内容をお知らせする機関誌の発行（全戸配布）
- ・内灘町広報等によるセンター事業のPR

### 5 その他

- ・内灘町シルバー人材センターの特色を生かした視察研修等、事業の模索
- ・家事福祉援助サービス、託児分野の拡大
- ・派遣事業の拡大